

# あさな!

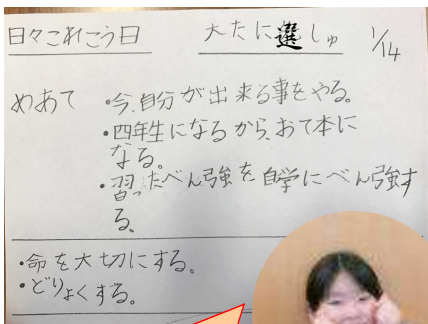
令和3年1月22日(金) No.34

文責：矢田部 瑞穂

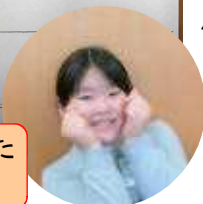


## おいでよ!浅小スキー場!

浅内小学校には、ちょっとしたゲレンデがあります。1、2年生の体育の授業をちょっと覗いてみると、学校の裏側にこんなに素敵な「浅小スキー場」。子どもたちは、雪に寝転んだり、そり遊びに興奮したりしながら「冬」を満喫していました。唐津先生が絶賛しているとおおり、これも、本校の魅力の一つに間違いありません。



集会の話をまとめた  
畠山ノート



## 日々是好日

平川さん(5年)が、広報のしろ(1月1日号)で、今年を「責」と書いていたことを取りあげ、冬休み明け集会で「目標」をもつことの大切さを話しました。

エンゼルスの大谷翔平選手(6年生の金野さんが詳しく説明)の目標達成シートから「運」の部分を取上げ次のことを話しました。

～「運も実力のうち」というけれども、運気をあげるために、大谷選手は①あいさつ②ゴミ拾い③部屋掃除④審判さんへの態度⑤本を読む⑥応援される人間になる⑦プラス思考⑧道具を大切に使うの8項目をあげ、努力している。「お天道様は見ている」から、普段の行いが「運」をあげてくれる～と。

また、私自身の目標「日々是好日」を発表し、雨の日も雪の日もどんな日も大事な一日であるということを思える人間になりたいと伝えました。

そのような話をして「大谷選手のシートをほしかったらもらいに来てください。」と言ったら、一番先に現れたのが金谷さん(2年)。2年生はみんなで挑戦してくれました。その後、休み時間に現れた3年生。そして、帰り際昇降口で大塚さん(4年)が挑戦したいと言ってくれました。

しばらくたったある日、そのシートを完成させて見せてくれたのが泉谷さん(3年)。81マスをしっかりと埋めたシートが右です。泉谷さんの目標は「水泳で賞を取る」。そのために必要な努力として①アドバイスをしっかり聞く②病気にならないなどを書いていきます。緻密で大事な目標内容に感心しました。もう一人感心したのが、畠山さん(3年)。休み明け集会後に私の話の中で心に残ったことを上のおおりノートにまとめていたのです。この2人に共通するところは、①素直に人の話を聞く②よいと感じたことは、自分の中に取り入れる。本当に感心しました。

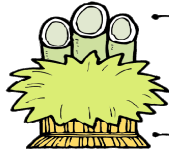


# 第61回秋田県児童生徒美術展

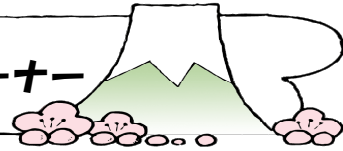
61回目を迎えた「秋田県児童生徒美術展」において、次のとおり、浅小っ子がたくさん入賞できました。

今年度は、感染症対策のため県立美術館への展示はありませんでしたが、本校では、冬休み明け集会において表彰しました。おめでとう！

- ★入選 芹田（2年） 保坂（3年） 保坂（6年）
- ★佳作 野沢（1年） 川端（4年） 金谷（5年）



## 瞳かがやく浅小っ子コーナー



芹田  
（2年）

見ているだけで幸せになるような、紗弥香さんの絵画。緑と青を基調とした蝶々に女の子3人が楽しそうに戯れている。この3人は2年女子かもしれないと思いつつながら温かい気持ちになる。芹田さんは絵が上手なだけでなく、表彰の日、「全校で一番返事がいい」とみんなの前で見本となった。大きな声で堂々と返事ができる！芹田さんのような返事ができる子どもを育てたい。これからも全校のお手本となって成長して行ってほしい。



ちょうちょにのったら



保坂  
（3年）

逆さまになってもがいている「海の主」から必死さが伝わる。さらに素晴らしいのは、題名とのマッチング。「海の主大ピンチ」まさのその瞬間をとらえている。保坂さんは、休み明け集会の時、休み前の約束を覚えていて、一番先に手を挙げた。それだけ人の話を丁寧に聞いて自分のものにしていくことが分かる。「素直な人は伸びる」と言われる。普段から、人の意見を柔軟に受け入れるからこそ今回の受賞につながった。ますます力を発揮してほしい。



海の主 大ピンチ



保坂  
（6年）

「いつもの階段」その題名にぐっとくる。卒業まであと36日。「いつもの」という言葉が重みを増す。当たり前前の一つ一つが大事に思えてくる。保坂さんの描いた「いつもの階段」は、その板の一枚一枚から温かさが滲み出ている。学校への思いを感じる。先日、湊城幼稚園の先生が保坂さんが卒園の時に描いた絵などを持ってきてくださった。その時からとても絵が上手だった。卒業してもいつでも遊びにきてほしい。「いつもの」校舎へ。



いつもの階段